

ハッピー&スマイル

47号

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
Tel. (0246)32-6381



笑顔も満点 青空昼食会

五月二十一日 本、楽寿荘恒例の青空昼食会が開催されました。曇り空という事もあり、散策等はせずに室内でのみ実施されましたが、コロナウイルス感染対策として、利用者さんのみの食事会となりました。歌を唄ったり・ゲームや体操をしたり、沢山のレクリエーションを行い、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。



楽寿荘外散策隊

コロナウイルスの多方面に及ぶ影響により、楽寿荘の行事やイベントも自粛や中止を余儀なくされました。



そんな中、少しでも利用者の方々に楽しんでいただけるように、楽寿荘の敷地内の散策を実施いたしました。



職員がタンバリンや鈴を使ってリズムを取り、「高原列車はゆく」などのリズミカルな歌や「こいのぼり」といった季節の歌を皆さんで歌うことができました。



お昼には厨房のスタッフさんが愛情を込めて作った青空弁当がテーブルに並び、「いつもより豪華だね」との話も聞かれたり、「美味しいね」と笑顔で食べてくださる姿も見られました。私たち職員も嬉しい気持ちになりました。



天気の良い日は外に出て、荘内に咲いている花を摘むなど、外の空気に触れる事で「楽しかった」「きれいな花が咲いてたよ」という言葉と笑顔が見られました。



施設長挨拶

猛威を振るったコロナウイルスによる感染症は、福島県、いわき市にも飛び火し、一時はどうなる事かと緊張の毎日でした。当いわき市では、五月四日、十五例目以後止まっております。五月二十五日には全国的に緊急事態宣言が解除され、段階的に社会経済活動の制限を緩和し、六月十九日以降全面的に拡大されるスケジュールが示されました。楽寿荘としても、施設内には絶対に持ち込まない為に厳しい制限を実施し、利用者、関係者、職員等の皆様に大変なご不便をおかけしている所であり、条件緩和方針を踏まえ感染予防を大前提に慎重に楽寿荘の方針を決めてお知らせする予定であります。

楽寿荘職員（家族も含む）一同、「密閉、密集、密接」の三密及び「手洗い、マスク、うがい」並びに「ソーシャルディスタンス」の基本を着実に守る事とともに、コロナの第二波流行に備え、出来る限りの対策を講じてまいります。皆様におかれましては、このような事情をおくみとり頂き、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。



ビデオ面会を実施しております。また、御来荘いただけのご家族様は、窓越しでの面会を行っております。

ご家族への手紙

4月、5月と面会のできない利用者の方々とそのご家族様に、少しでも安心して頂く為に写真付きのお手紙をお送りしました。可愛い笑顔や凛々しい顔をカメラに向け、「いい写真撮れたかな」と写真を確認される方もおられました。お手紙が届き、ご家族様から電話や手紙にて御返事をいただき、利用者の方々にだけでなく職員一同も暖かい気持ちになりました。



楽寿会ホームページはこちらから



<http://www.rakujikai.com>

